

平成 24 年 7 月 5 日  
 株式会社電通  
 株式会社電通テック

## 「リアル×ソーシャル」で認知向上と参加性を高める 新しいプロモーションサービス「Social\_Box（ソーシャルボックス）」を開発

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直、以下「電通」）と株式会社電通テック（本社：東京都中央区、社長：堀 宏明、以下「電通テック」）は共同で、「リアル×ソーシャル」の連携を図る新しいプロモーションサービス「Social\_Box」を開発し、7月5日からサービス提供を開始いたします。

「Social\_Box」はイベントや店頭などプロモーション現場における生活者の体験を、Facebook、Twitterなどのソーシャルメディアを通して拡散することで、認知を促進していくことに加え、それがリアルな場でリアルタイムにシェアされることにより、目の前のプロモーション自体に変化を生じさせ、結果として「リアル×ソーシャル」な場に参加する方々に特別な体験を与え、参加性の向上を狙うプロモーションサービスです。

本サービスの開発にあたっては、まず5月26・27日に岩手県盛岡市で開催された「東北六魂祭 2012」の学生企画【巨大モザイクアート制作イベント「入魂 SOULCIAL ART」】に技術提供を行いました。具体的には参加者が会場で撮影した写真をSNSで拡散すると同時にシールとして出力、また並行してSNSで募集したアイコンもシール出力し、リアルとソーシャルの双方で集まった計14,850枚のシールを、会場に設置されたモザイクアートの1コマとして活用しました。参加者のアクションはSNSで展開され、1人のイベント参加に対して平均20人へのリーチ（認知獲得）と、8人のパーティシパント（参加）※1を得ることができました。

### <東北六魂祭 2012「入魂 SOULCIAL ART」における技術提供の概要>

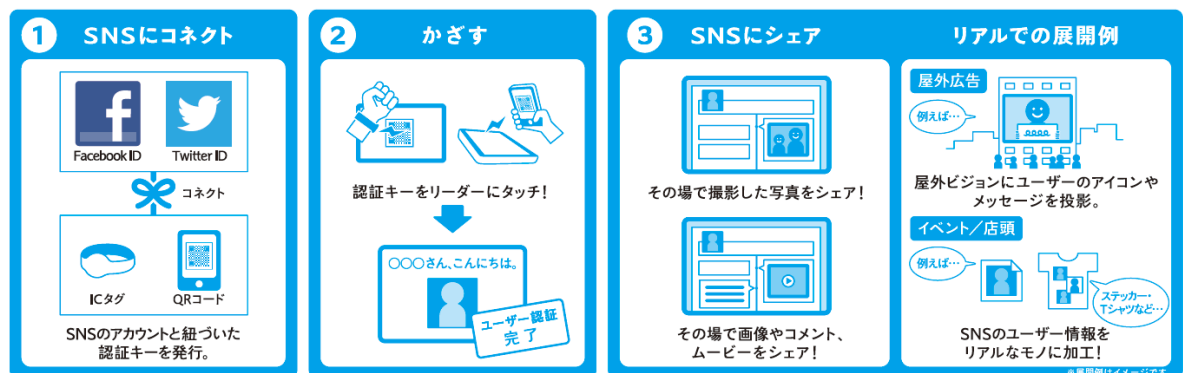
1 ログイン	2 参加登録	3 SNSにシェア	六魂祭会場での展開
 <p>Facebook ID Twitter ID</p> <p>Facebook・Twitterのアカウントでログイン。</p>	<p>WEBからの参加</p>  <p>盛岡、行ってきますー!</p> <p>会場からの参加</p>  <p>東北六魂祭</p>	 <p>Facebook・Twitter内に参加状況をその場でシェア!</p>	  <p>シールとして出力されたアイコンが、六魂祭会場の巨大モザイクアートの1コマに!</p>

※1 「パーティシパント」とは、生活者が「ちょっといいかも」思ったり、「友達に伝えよう」と考えたりした時に、RT（リツイート）や「いいね！」ボタンなどを通して、軽い気持ちで友人・知人に事物を拡散する事象を指します。

「Social\_Box」は、ソーシャルメディアや外部デバイスとの連携機能がモジュール化されているため、企画内容に応じて各モジュールを組み合わせ、次のような案件で活用することができます。

### <Social\_Box の活用例>

- ・店舗誘引、クーポン配布
- ・ファッションイベントやスポーツイベントでの興味喚起
- ・チェックインスタンプラリー
- ・代替現実ゲーム（ARG）キャンペーン



\* 本サービスには株式会社アクアビットスパイラルズが提供する「WIDGeTTA (ウィジェッタ) with Social Connect」(スマートフォンアプリ連動CMS)を採用しています。

また、「Social\_Box」の提供開始と同時に、O2O (Online to Offline) ※2 領域におけるコミュニケーション・プランニングや新規サービス開発を目的としたチーム「\_ (アンダーバー)」※3 を発足させます。本チームは電通グループ内横断のバーチャル組織で、電通コミュニケーション・デザイン・センター、電通プロモーション事業局、電通テックなどを中心とした各領域の専門スタッフから成り、グループ内のソーシャルメディアとプロモーション・プロデューサーにおける知見を統合させて、生活者とのリアルな接点であるイベント/店頭等とソーシャルメディアをつなぐ新規サービス開発を行っていきます。

※2 オンライン上の生活者を店頭などのオフラインな場での行動や購買に促すこと。また、オフラインでの行動に影響を与えるオンライン上の施策などを意味する。

※3 「REAL\_SOCIAL」「ONLINE\_OFFLINE」「YOU\_WORLD」のように、異なる要素、コンタクトポイントや世界を、アンダーバーのようにデジタルを通して“つなぐ”ことで、新しいプロモーションとコミュニケーションを実現するという意味を込めている。

「Social\_Box」ロゴ



「\_ (アンダーバー)」ロゴ

TM



■本サービスに関する問い合わせ先

[info@team-underbar.com](mailto:info@team-underbar.com) までお問い合わせください。